

Le Semeur

〔ルスメール〕＝種をまく人

【教育相談】の種をまく人でありたい子ども
の心に【愛の種】をまきたい自分の心
に【ゆとりの種】をまきたい

日本学校教育相談学会山梨県支部 会報

発行 2019年度 No.2 8月13日

発行者 山梨県支部事務局

発行所 北杜市長坂町中丸4333-16

メールアドレス

kyouikusoudan.y@gmail.com

令和元年度 第2回研修会について

7月6日（土）、今年度第2回研修会が行われました。今回は、事務局長の佐藤丈先生を講師にして行われました。参加者は、佐藤先生入れて8名でした。今年度新採用の小学校の先生も参加していただきました。

このように教育相談の学びの輪が若い教員にも広まっていくことを今後も期待しています。

1 研修の内容

講師 山梨県北杜市立泉小学校 佐藤丈先生（ガイダンス・カウンセラー、公認心理師）

テーマ 「子どもをどう勇気づけるか ～不登校の事例を通して～」

不登校等に陥りがちな共感の苦手な子どもたちに、どのように「勇気づけ」を行い、共同体感覚を培っていくか、具体的事例やワークを通じて学びました。「勇気づけ」とは「共同体感覚を育むことに他ならない」とのこと。さらに所属感、信頼感、貢献感、自己受容からなる共同体感覚を子どもにどのように育てていくか、保護者を含めてどう勇気づけしていくか、参加者みんなで議論しながら考えました。



高坂 2011

2 参加者アンケートの感想

- 「共感」が重要である。共感が苦手な子に共感する、理解する、受けとめることがまず大事だと思った。共感伝える機会を大事にしたり、経験する場を設けたりして、少しずつ「相手はどう思うか」を考えられるように根気強く指導した。いろいろな先生方と連携して子どもを育てていけるようにしたい。
- 自分自身反省したり振り返ることができた。アドラー心理学にもとづいた話で、興味深い。佐藤先生には、いつも考えて資料を作ってくださいありがたい。相手の立場にたって考えられない児童に対する対応のヒントをいただいた。
- 新採用の先生が来てくれてとてもうれしく心強かった。若い仲間がさらに増えるとよい。
- 講義とワークのバランスがよく、理解を深めることができました。「勇気づけとは、共同体感覚をはぐくむこと」について、所属感、信頼感、貢献感、自己受容の4つの視点から、ワークを通して学び共感できる機会となりました。佐藤先生ありがとうございました。
- 自分のクラスの子どもが頭に浮かびました。気持ちをささない出せない子をどう支援していくのか、悩みながらやっています。考えをみんなで共有し、とても勉強になりました。ありがとうございました。いつも自分の心とも向き合える佐藤先生の研修を楽しむことができた。○共感、勇気づけについて、ゆったりと言葉かけや対応を考えることができました。改めて確認する良い機会でした。ありがとうございました。

3 運営担当者の感想（文責 佐野和規）

参加者の出足が遅く、運営担当者として開始前にはハラハラしました。

山梨県支部の会員がそれぞれ輪番で講師を務めるということには一長一短あると思います。私自身が講師をするにしても、毎回同じような話ばかりしてしまい、マンネリに陥ることがないか心配です。出席者が少ないのはそのせいだろうかとも考えました。

それでも、佐藤先生は昨年の研修会とはまた違う形で工夫をされ、私もまた違った角度からアドラー心理学について学べたと思います。何度も学んでいるうちに自分自身見方が変わってくることも感じました。

アドラー心理学の「勇気づけ」に関しては、以前の研修会の場でも佐藤先生に質問をぶつけ、議論になったこともありました。単なる「賞賛」なのではなく、なぜ「勇気づけ」なのか。「勇気づけ」という言葉がわかりにくいのではないかと。「賞賛ではなく勇気づけでないとダメである」という言い方をアドラー心理学の立場でされると、学校の先生たちが返って混乱しないか、というのが私の意見でした。

でも本日、改めて佐藤先生の話聴いて、不登校やその他の子どもたちをあの手この手でなんとか元気にさせ生きる力や希望をあたえようとする行為が「勇気づけ」なのだと感じました。そして、それは共同体感覚の育成につながっている。単なる「賞賛」より奥行きのあるものなのだと感じました。

今後どんな研修を希望するか

第2回研修会参加者から今後の研修内容として以下の希望が出ました。

- ・ 玉木先生の話が甲州市主催でききました。とても良かったので、学会でも発達障害の児童の話がききたいです。
- ・ 演習、ワークを適度に取り入れる。
- ・ クレーマー対応、虐待への対応
- ・ 教育相談的な授業の実際
- ・ 事例研究
- ・ 脳科学と心理学について

お知らせ

令和元年度第3回研修会のお知らせ

- (1) 日時 令和元年8月31日(土) 14:00~16:30
(2) 場所 アトリエ・レイ甲府市国母4-21-6
(3) 内容 「事例研」ともに悩みを分かち合い、解決策を考えましょう。
- 指導助言者 日本教育相談学会スーパーバイザー 益子 邦子
ガイダンスカウンセラー 土橋 士郎

* 事例を募集します。形式は問いません。事前に資料が送れる方は下のアドレスに連絡ください。資料は当日持ち込みでもかまいません。事例を出して頂ける方は連絡ください。

* メールアドレス hanasan13@gmail.com

電話 090-8107-1640 (成澤)